

ふれフェ

ふれあいフェスティバルを開催！

5月26日(土) ふれあいガーデン「和」において、第4回関東病院ふれあいフェスティバルを開催しました。

昨年、雨天開催となったため、今年こそ当日の天気予報を1週間前から気にしていたスタッフは、てるてる坊主づくりに大忙し！おかげで当日は、真夏を思わせる快晴となりました。

今回は、ふれあいフェスティバルの原点に戻り、ミニ新幹線、フアフアなどお子さんに喜んでいただける催し物を企画しました。お子さん連れで来場いただいた方々には大好評で、暑い中、長蛇の列ができるほどとなりました。

また、これまで付属の看護学院生が披露してきたダンスパフォーマンスを、今回は東京医療保健大学のチアリーディングチームが行いました。ご来場の皆さんから大きな拍手を浴び、最後は子どもたちが飛び入り参加し、会場は

大変な盛り上がりとなりました。院内開設の口腔、健康相談の各コーナーでは、歯のブラッシング方法、病気やお薬に関する相談など、皆さん真剣に聴き入っていました。肺活量測定では、照れながらも頑張る参加者など、楽しく体験していただきました。恒例の飲食コーナーも綿菓子、ポップコーンなどお子さんに喜ばれる食べ物を用意し、大盛況でした。皆さん、暑い中ご参加いただき、ありがとうございました。

来年もご来場の方々に喜んでいただける催し物を企画いたしますので、奮ってご来場ください。



もしもしセミナー

第11回もしもし医学セミナーを開催

11回目を迎える「もしもし医学セミナー」を、6月9日(土)に開催しました。

今回のテーマは「認知症」。筑波大学臨床医学系精神医学准教授の水上勝義先生に講演をしていただき、その後、当院の神経内科部長吉澤利弘、精神神経科部長秋山剛が講演を行いました。

会場は、参加者で満員となり、水上先生に、(1) 認知症を正しく理解し、認知症高齢者が楽しく生活できるように、



社会全体で支えあうことの大切さ、(2) アルツハイマー病、レビー小体型認知症、血管性認知症といった代表的な認知症の特徴、(3) 認知症



の前段階である軽度認知機能障害 (MCI) についてお話をいただきました。また全員で「認知症チェック」や認知症予防体操「フリフリグッパ」を行いました。

質疑応答では、さまざまな質問が予定時間を過ぎて続き、皆さんの関心の高さが伺えました。

次回の開催は10月頃を予定しています。引き続き地域の皆さんに身近なテーマを取り上げて開催したいと思いますので、ぜひご参加ください。

編集後記 リニューアル2号目となりましたが、いかがでしたでしょうか？読みやすくなった！あまり変わり映えしない？もっとおもしろく！などいろいろご意見があると思います。皆さんのお役に立てる広報誌にしたいと考えていますので、ぜひご意見やご感想をお寄せください。4月から編集委員も新メンバーとなり、ますます充実した内容を考えています。今後も「もしもし」をよろしくお願いたします。

広報誌 編集委員 放射線部 野田 正信